

ぽっかぽか

志木市立宗岡第四小学校
道徳だより 7月号
平成30年7月20日(金)

先日は道徳教育に関する保護者アンケートへご協力いただき、ありがとうございました。「特別の教科 道徳」の学習指導では、家庭や地域社会との共通理解を深め、互いに連携を図っていくことが大切です。ご協力いただいたアンケートを二学期からの指導に生かし、「共に学び、よりよく生きる児童の育成」を図ってまいります。

授業紹介 5年生「たのむよ、班長」主題名：集団での役割

2泊3日の宿泊学習を控えた6月末に、授業を行いました。班活動で直面しがちな場面を描いた教材でしたので、それぞれの立場で考え話し合うことを通して、集団のなかで自分の役割を果たすこと、集団への参加への意欲を高めることをねらいとしました。

教材のあらすじ

主人公、大和は、学校の校外学習（ウォークラリー）のグループの班長になり「頼むよ、班長」と頼られて張り切ります。しかしウォークラリーが始まると、班は早く進みたい **進たち**と、ちゃんと問題を解きたい **優花たち**に分かれてしまいました。両方に声をかけるけれど、班はまとまらず、大和はどうしたらよいか悩んでしまいます。

授業の流れ

はじめに、三人の立場やそれぞれの思いを確認しました。次に、「この状況を解決するには三人はそれぞれどうしたらよいか」自分なりに考えました。その後、グループで各々の考えを発表し合い、自分の考えを見直したり、よりよい解決案を考えました。

- みんなが、みんなのことを考えて行動すればいい。
- みんなが、お互いに協力する。

など、自分と重ね合わせながら考え、話し合っていました。

学習の振り返り ～子どもの「道徳ノート」から～

<大変な役割だったけれど、みんなの役に立ったこと>

- 登校班で意見が合わないとき、意見をうまくまとめられた。
- グループで、自分の好きなことだけやろうとしたから、「みんなで協力してやろうよ。」とみんなに言って、好き勝手になくゆずりあうようにした。
- 大和さんたちみたいに意見が分かれてしまったことがあるけれど、一回それぞれ自分の意見をきちんと言うようにして、解決した。
- 宿泊学習の係決めで、みんながやりたいことだけを言っていて決まらなかった。一人ずつ聞いていったら、譲ってくれた人もいて最後はみんな笑顔で決められた。

など



